

緑の大敵を
撲滅しよう!!

アメリカンロビトリ

恐るべき繁殖力で
緑を食いつくす!!

みんなで適期に

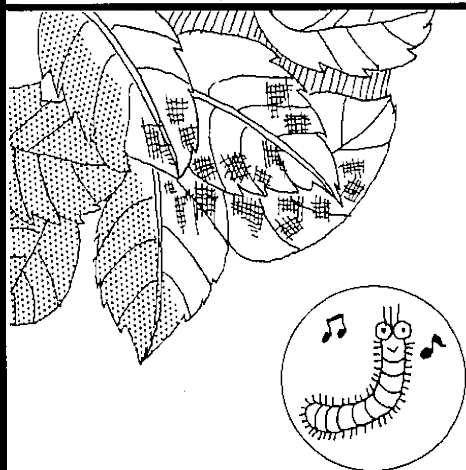
退治

幼虫はプラタナス、サクラなど街路樹や庭木、クワ、カキ、クルミなどの葉を食害して枯らしてしまいます。

沼田市白沢支所

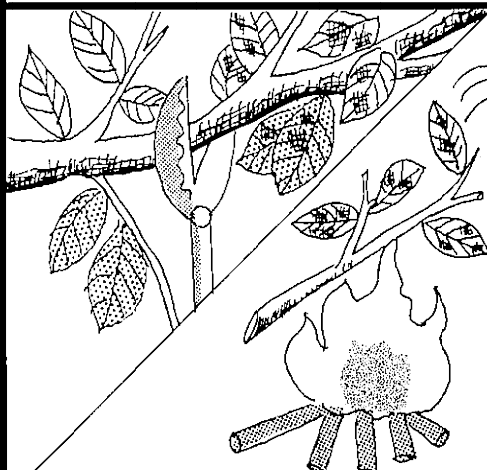
防除のための の3つの 対策！

巣のみつけ方



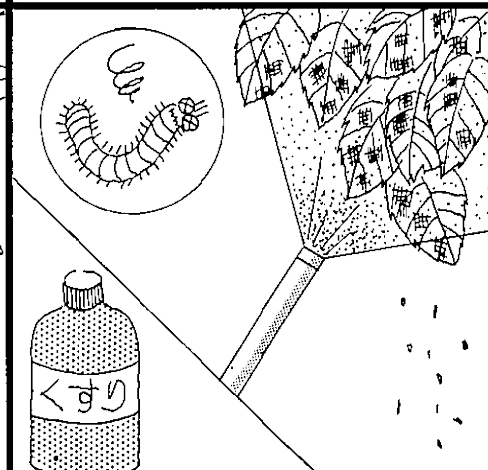
アメリカシロヒトリは、6月～7月と、8月～10月上旬の年2回加害します。クルミ、カキなどに好んで産卵し、卵からかえった幼虫は、糸をはいて巣をつくり、一定期間(10～12日間)かたまっています。巣の中の幼虫は、はじめ葉の葉脈だけ残して食害するので、その葉だけがすけて見えます。

巣の処分



幼虫は大きくなると(体長1.5センチメートル位)巣から離れてしまうので、分散する前に枝葉を切りとって、焼くか、踏みつぶしてください。また巣が高いところにあるときは、枝を切り落すか、または直接焼き殺すようにします。

薬剤散布



発見がおくれ、すでに虫が分散したときは、ディブテックス50%乳剤1000倍液(水100ℓに薬液100ccを混合) DDVP 75%乳剤、1500倍液(水100ℓに薬液67ccを混合)、50%乳剤の場合は1000倍液(水100ℓに薬液100ccを混合)を十分散布して下さい。農薬はもよりの農業協同組合、農薬販売店にあります。なお薬剤散布を行うときは人畜、他作物等に対する危害防止につとめて下さい。

アメリカシロヒトリの一生(年2回発生)

■越 冬
■成 虫
■産 卵
■幼 虫

蛹で越冬します。

越冬した蛹は5月から6月初旬(第1化期)に成虫になり、産卵します。

1匹の産卵数は800～2,000位と極めて多く、1週間位でふ化します。

10日～12日間かたまっていますが(この時期が防除適期です)それが過ぎると分散して、各種の樹木の葉を食いあらしめます。幼虫の分散後の食欲は極めて旺盛で、見る見るうちに樹木は丸坊主になります。幼虫は約35日位で蛹になります。

■第2化期

第1化期をおえるアメリカシロヒトリは、7～8月には産卵し、2,000倍の子孫を残して、再び植物を食いあらすようになります。

◎防 除

幼虫が巣に入っている期間、この時期に必ず防除するようにしましょう。